

MOTEGI 2&4 RACE



2012年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第5戦
 ツインリンクもてぎ 開業15周年記念大会



8/4 予選 SAT. 5 決勝 SUN.

2012 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦
 J-GP2・J-GP3クラス ツインリンクもてぎ 開業15周年記念大会

一日で2輪も4輪も楽しめる「MOTEGI 2&4レース」 Enjoy Honda、ツインリンクもてぎ15thアニバーサリーデーも同日開催



2012年フォーミュラ・ニッポン第2戦
 スタートシーン



2012 MFJ 全日本ロードレース開幕戦
 J-GP2スタートシーン



2012 MFJ 全日本ロードレース開幕戦
 J-GP3スタートシーン

今年、2輪レースと4輪レースが同日開催されるのは、鈴鹿サーキットとオートポリスそしてツインリンクもてぎでの3レースだ。すでに鈴鹿サーキットとオートポリスはレースを終了していることから、このMOTEGI 2&4レースが、今年最後の共催となる。

4輪は、いずれの大会もフォーミュラ・ニッポンで、それは今回のMOTEGI 2&4レースでも同様だ。一方の2輪は、鈴鹿2&4レースがJSB1000クラス、オートポリスはST600クラスとの共催で、今回のMOTEGI 2&4レースでは、J-GP2とJ-GP3の2クラスでの共催となる。

フォーミュラ・ニッポンは、その名の通りフォーミュラ・レースの日本最高峰カテゴリーだ。全車スウィフト・エンジニアリング社製FN09を使用し、エンジンはHondaがHR12E、トヨタがRV8Kを使用する。また、タイヤはブリヂストンのワンメイクだ。

一方、2輪のJ-GP2クラスは、市販4ストローク600ccマシンをベースに改造範囲の少ないST600クラスのステップアップクラスとして2010年からスタート。独自制作のフレームで出場が可能で、関口太郎や野田弘樹は、MotoGP世界グランプリのMoto2クラスに出場しているTSRがリリースするTSR2で参戦中だ。なお、使用できるタイヤは、ドライ路面ではスリックとなる。

そしてJ-GP3クラスは、出場マシンは今年から4ストロークに限定され、MotoGP世界グランプリMoto3クラスに登場するのと同じHonda NSF250Rがメインとなった。このNSF250Rは、Hondaが一般市販するレーサーマシンだが、日本では、どのチームもまだ手探りでセッティング出しをしている最中でもある。そのため、だれもが優勝や上位入賞を狙える状態にあると言える。また、このクラスには、12歳から17歳のライダーによるYouthクラスが設けられており、将来を担う若手ライダーたちの活躍にも注目だ。

圧倒的な速さを誇るフォーミュラ・ニッポン。そして2輪でなければ見ることのできないマシンをバンクさせた迫力のコーナリング。MOTEGI 2&4レースでは、一日でモータースポーツのすべてが楽しめるのである。

フォーミュラ・ニッポン 見どころ

第3戦でダンディライアン塚越広大、伊沢拓也が1-2フィニッシュ！ Honda陣営・地元栃木県出身ドライバーの逆襲が始まった！！



第3戦表彰台。優勝した塚越(右)と2位の伊沢(左)



第2戦もてぎで優勝したロッテラー

フォーミュラ・ニッポン第3戦(オートポリス)でHondaエンジンを搭載する塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が、予選ポール・ポジション(PP)から独走でフォーミュラ・ニッポン参戦4年目にして初優勝。塚越に続いたのが伊沢拓也でダンディライアンがチーム初の1-2フィニッシュを飾った。昨年はシリーズ7戦全てトヨタエンジン搭載のチームが優勝しており、Hondaエンジン陣営の勝利は一昨年の最終戦以来となった。

今季ツインリンクもてぎで行われた第2戦ではA・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM'S)、J・P・デ・オリベイラ(TEAM IMPUL)、中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)と、トヨタ陣営が表彰台を独占したが、今シーズン2度目となる第5戦のツインリンクもてぎは大きく違った展開になるのは確実。塚越、伊沢に加え、同じHondaエンジンの山本尚貴(TEAM無限)も第3戦では速さを見せており、逆襲に燃えているのだ。しかも塚越、山本は地元栃木県出身。「このいい流れのままもてぎに乗り込みたい」と塚越が語るように、ホームコースとも言えるもてぎではいつも以上に力が入る。

シリーズ後半戦に入った第5戦もてぎを制することは、タイトル争いの上でも重要なこと。ロッテラー、一貴、オリベイラVS塚越、伊沢、山本。トヨタ陣営VS Honda陣営。威信をかけた戦いが繰り広げられることになった。



地元栃木県出身の山本

ブランクを乗り越え本領発揮の元チャンピオン松田次生、L・デュバル。 もてぎに強い小暮卓史、地元チームの嵯峨宏紀も上位を狙う



松田

デュバル

小暮

今シーズンは4人のチャンピオン経験者の参戦が話題となったが、順調に上位を走るA・ロッテラー(2011年チャンピオン)、J・P・デ・オリベイラ(2010年)に対して松田次生(TEAM IMPUL. 2007・08年)、L・デュバル(Team KYGNUS SUNOCO. 2009年)は、1年のブランクがあり苦戦を強いられましたが、第3戦ではデュバルが3位表彰台、松田が4位に食い込み、やっと本来の強さを取り戻してきた。

またツインリンクもてぎで忘れてならないのが群馬県出身の小暮卓史(NAKAJIMA RACING)だ。もてぎは過去3勝、予選PP6回を記録した最も得意とするコースだけに負けるわけにはいかない。もうひとり群馬県出身の大嶋和也(Team LeMans)も「もてぎは地元のファンが応援に来てくれるのでいい走りを見せたい」と力が入る。そしてもうひとり、嵯峨宏紀にも注目だ。所属するTOCHIGI Le Beausset Motorsportsは、フォーミュラ・ニッポンで地元茂木町を本拠地とする唯一のチームだ。地元パワーを得て快走を誓う3人、本領発揮のチャンピオン2人。彼らが上位争いに食い込んでくるか注目だ。



TOCHIGI Le Beausset Motorsports 嵯峨の走り

- 大会名称：2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第5戦 ツインリンクもてぎ 開業15周年記念大会
- 開催日：2012年8月4日(土)・5日(日)
- 併催レース：アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第7戦・第8戦
Hondaスポーツ&エコプログラム CR-Z 10リッターチャレンジ
- 主催：株式会社モビリティランド / エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 認定：株式会社 日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会

MFJ全日本ロードレース 見どころ



開幕戦で優勝した浦本

J-GP2 浦本修充と渡辺一樹の白熱バトルに注目!!

今年のMFJ全日本ロードレースは、4月1日(日)にツインリンクもてぎで開幕した。そして、昨年のチャンピオンマシンをベースにしたハルク・プロのHonda CBR600 HP6を駆る浦本修充が優勝。浦本は昨年、MFJ全日本ロードレースST600クラスに出場しランキング8位となっているが、クラスをJ-GP2にスイッチした初戦で、いきなり全日本初優勝を遂げたのである。だが、シリーズ第3戦筑波では、追い上げを開始した直後に転倒。再スタートするが、14位でチェッカーを受けるのが精一杯だった。

一方、開幕戦ツインリンクもてぎで、レース中に新コースレコードとなる1分54秒532を記録して浦本に迫ったのが、Kawasaki ZX-6Rを駆る渡辺一樹だ。渡辺は、2010年にMotoGP世界グランプリのMoto2クラスに参戦経験を持つが、昨年は、主立ったレース活動はなく、一年のブランクを経ての登場で、いきなり2位の表彰台に立ったのである。そしてこの渡辺は、第3戦筑波で全日本初優勝を達成。14位に終わった浦本に代わってポイントリーダーとなった。

約3ヶ月という長いインターバルを置き、シリーズ後半戦のスタートレースとなるMOTEGI 2&4レースだが、注目はもちろん、開幕戦で優勝した浦本と、ポイントリーダーでシリーズ前半を折り返した渡辺の直接対決だ。さらにこのJ-GP2は、MotoGP世界グランプリのMoto2クラスに通じるクラスでもあり、両雄が目指しているのは、2011年にアンドレア・イアンノーネが記録したMoto2クラスのコースレコード1分52秒307であり、やはり2011年にマーク・マルケスが叩き出したサーキット・ベスト・ラップ1分52秒067だ。

“世界”との距離を縮めるのは浦本か渡辺か。さらにチャンピオンシップの行方は。MOTEGI2&4レースは、まさに見どころ満載の、注目の一戦となる。



開幕戦で優勝したゼッケン634浦本と2位のゼッケン26渡辺



開幕戦で優勝した山本

J-GP3 下克上復活!! 大混戦必至の最軽量クラス

昨年は2ストローク単気筒125ccマシンと4ストローク単気筒250ccマシンの混走だったが、今年は4ストローク単気筒250ccマシンに統一されて争われるJ-GP3クラス。マシンは、Hondaが市販するレーサーマシンNSF250Rが中心となる。

4月1日(日)に行われた開幕戦ツインリンクもてぎでは、MotoGP世界グランプリのMoto3クラスに今年からフル参戦している藤井謙汰が賞典外で参戦し注目を集めたが、予選では昨年のGP-MONOチャンピオン長島哲太がトップタイムを記録。決勝レースでは、藤井、長島と激しいトップ争いを演じた山本剛大が優勝。2番手チェッカーの藤井は、賞典外だったことから、2位にベテラン徳留真紀が入り、3位にはルーキー國峰琢磨が入った。

J-GP3クラスの2戦目は、シリーズ第3戦筑波。予選では、長島がポールポジションを奪い、2番手に山田誓己が続く。そして決勝レースでは、長島が独走で優勝。2位に山田、3位はベテラン菊池寛幸となった。

このJ-GP3クラスは、MotoGP世界グランプリのMoto3クラスに直結するクラスとして注目度が高い。また12歳から17歳のライダーによるYouthクラスが設けられているのも大きな特徴で、開幕戦3位の國峰、2戦目で2位の山田はYouth登録ライダーだ。ベテラン、中堅、将来を担うYouthと、その戦いは、まさに下克上といつていいほどに過熱状態。だれが優勝しても不思議ではない戦いが、再びツインリンクもてぎで行われる。



開幕戦、ゼッケン4山本とゼッケン45長島のトップ争い

- 大会名称：2012 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦
J-GP2・J-GP3クラス ツインリンクもてぎ 開業15周年記念大会
- 開催日：2012年8月4日(土)・5日(日)
- 主催：株式会社モビリティランド / 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 協力：エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)
- 公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM)



ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)は2012年8月1日に開業15周年を迎えます。当大会では、“モビリティの祭典15thアニバーサリーデー”と題し、日頃支えていただいている皆様への感謝を込め、さまざまなお得な特典や、“15thアニバーサリーイベント”をはじめ、“Enjoy Honda MOTEGI 2012”、“北関東B級グルメバトル”など、ご家族ご友人でお楽しみいただけるイベントが満載です。また、キャンプもレース観戦も満喫していただける「V字お手軽キャンプ場」をはじめ、観戦に便利なコースサイドパーキングもご用意させていただきます。

イベント情報

“ツインリンクもてぎ15thアニバーサリーデー”

MOTEGI 2&4レースは、開業15周年を記念して魅力いっぱいのイベントでファンの皆様をお迎えいたします
さらに当日は「Enjoy Honda もてぎ 2012」も開催！

15thアニバーサリーデー レーシングマシンデモンストレーション

Honda Collection Hall所蔵のレジェンドマシンのデモ走行を開催。時代を駆け抜けた様々なマシンが、ファンの目の前でツインリンクもてぎロードコースを走ります。中でも注目は、中嶋悟がF1に参戦していた当時のマシン「ロータス100T」。日本中を沸かせた走りが蘇ります。

- 日時:8月4日(土) 17:00~17:30(予定)
- 場所:ロードコース
- 主な参加車両:ロータス100T、マクラーレンMP4/5、NSR250、RC211V
- ※他のマシン・ドライバー・ライダーは決定次第ホームページに掲載いたします。

ツインリンクもてぎ15thアニバーサリーデー前夜祭

8月4日(土)に前夜祭を開催。出場する選手、ゲストライダー・ドライバーが一堂に会しての「オールスター大集合！スペシャルサイン会」や「スペシャルゲストトークライブ」など、魅力的なイベントが盛りだくさんです。

- 日時:8月4日(土) 17:30~19:00(予定)
- 場所:グランドスタンドステージ
- 内容:「オールスター大集合！スペシャルサイン会」「スペシャルゲストトークライブ」「CR-Z 10リッターチャレンジ オールスターレース」など

ツインリンクもてぎ15thアニバーサリーデー記念セレモニー

ご来場いただいた皆様に、にツインリンクもてぎの15年分の感謝の気持ちをお伝えする記念セレモニーを開催いたします。

- 日時:8月5日(日) 13:00~(予定)
- 場所:スーパースピードウェイ/グランドスタンドステージ

～観て、遊んで、体験する～ 「Enjoy Honda もてぎ 2012」開催

「すべてのHondaファンへ感謝の気持ちを込めて」をテーマに、もっとたくさんの人にHondaの想いを知ってもらいたい、という願いが詰まったイベント「Enjoy Honda」がMOTEGI 2&4レースの併催イベントとして開催されます。おとなも子どもも思う存分楽しめる、Hondaの想いが、ぎゅっと詰まったイベント・コンテンツが盛りだくさんです。

Enjoy Honda
MOTEGI 2012

詳細は以下ホームページをご覧ください
<http://www.honda.co.jp/enjoyhonda/motegi/2012/>



チケット情報

～開業15周年記念～ 子どもの観戦無料！

■前売観戦券(2日通し券)

大人 (高校生以上)	子ども (3歳～中学生)	学割(大人料金の50%割引)
3,900円	無料	2,000円

※お子様のレース観戦は、観戦券をお持ちの大人の方のご同伴が必要となります。

※学割は引換券です。引換の際は学生証の提示が必要です。学生証をお忘れの際は追加料金1,900円が必要となります。

■前売駐車券(2日通し券)

4輪			2輪
北エリア	南・東エリア	スーパースピードウェイ コースサイド	
1,500円	1,500円	3,000円	500円

※駐車券ご購入時の注意事項:

もてぎ2&4レースでは中央エントランス周辺での歩行者天国実施のため南エリア⇄北エリアの通り抜けはできません。

エリア駐車券ご購入の際は、十分ご注意くださいようお願いいたします。

※その他のチケットはホームページをご覧ください。 http://www.twinring.jp/ticket_m/2012/2and4/index.html

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■ツインリンクもてぎチケットセンター 窓口販売 8月3日(金)17:00まで
(営業時間:9:30～17:00 /土・日・祝は最終受付時間が異なります。7月13日まで17:30、7月14日～8月3日まで18:00。)
※6月11日(月)～6月14日(木)は施設点検のため休業いたします。

■ツインリンクもてぎチケットセンター 電話販売 7月29日(日)17:30まで
☎0285-64-0080
(営業時間:9:30～17:00 /土・日・祝は最終受付時間が異なります。7月13日まで17:30、7月14日～8月3日まで18:00。)
※6月11日(月)～6月14日(木)は施設点検のため休業いたします。

■MOBILITY STATION (オンラインショップ)
PC <http://mls.mobilityland.co.jp> 7月29日(日)24:00まで (24時間受付)
モバイル <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile>

プレイガイド、コンビニ、店舗での販売

●チケットぴあ ●ローソンチケット ●e+ ●CNプレイガイド ●Hondaウエルカムプラザ青山
●道の駅もてぎ(栃木県茂木町) ●STEP-1(栃木県茂木町) ●かましん もぴあ店(栃木県茂木町) ●道の駅はが(栃木県芳賀町)
●鈴鹿サーキットレースチケットセンター
●セブンイレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス
※上記のコンビニエンスストアでは一部取り扱いのない店舗がございます。

■チケットに関するお問い合わせは... ツインリンクもてぎチケットセンター ☎0285-64-0080